

## 平成20年度第6回経営協議会議事要録

日 時：平成21年 1月15日(木) 13:30 ~ 15:50

場 所：特別会議室(事務局3階)

出席者：崎元 達郎、西山 忠男、阪口 薫雄、菅原 勝彦、森 光昭、山本 晃、辻野 智二、  
檜山 隆、小田切 優樹、江口 吾朗、小堀 富夫、園田 頼和、田川 憲生、  
平田 耕也、星子 邦子、丸野 香代子、小宮 義之

欠席者：倉津 純一、稲垣 精一、井上 孝美

### 議事要録の確認

平成20年度第4回会議議事要録及び第5回会議(書面会議)議事要録が確認された。

### 議 事

#### 1. 平成21年度予算編成の基本方針(案)について

議長から、平成21年度予算の内示を受け、年度計画の達成はもとより、第一期中期目標期間の最終年度の平成21年度終了時点で確実に中期計画を達成し、次期中期目標期間における活力を蓄積するため、効率的・合理的に大学運営が行われるよう平成21年度予算編成の基本方針(案)を作成したので審議願いたい旨提案があった。次いで事務局から、資料1に基づき、内容について説明があった後、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、議長から、本件については基本方針(案)を基に学内配分方針(案)を作成し、3月の本会議において審議する予定である旨付言があった。

#### 2. 第二期中期目標・中期計画について

議長から、平成22年度から第二期中期目標期間が始まるにあたり、各国立大学法人は本年6月末までに第二期中期目標・中期計画の素案を文部科学省へ提出することが求められている旨説明があり、本学においては総合企画会議にワーキンググループを設置して検討を行っており、素案の第1稿がまとまったため、本会議において意見を伺いたい旨発言があった。

次いで菅原理事から、資料2-1~2-5に基づき、中期目標・中期計画素案の作成スケジュール及び素案(第1稿)の構成等について説明があった後、種々意見交換が行われた。

意見交換の概要は次のとおり。( は委員からの質問・意見、 はそれに対する回答等)

計画が各中項目について設定されているが、計画の数は指定されているのか。計画の数はできるだけ少なくする方がよい。そうすれば作業が軽減されるし、クリアになってくる。また、表現について、「 を構築する」とか「 を推進する」という表現を上手にしておかないと、漠然としたものになる。目標があって、その目標を達成するために、こういう計画を実施して、その結果どうなったのか、それが評価される。例えば、教育を充実するために、ある組織を構築した場合、構築するという計画であればそれでいいが、構築した結果どうなったかということまで言えれば、非常に点数がよい。従って、表現一つにしても工夫すること

が大事だと思う。

当初、研究については非常にコンパクトにしていたが、教育の項目数に比べて研究の項目数が少なかったため、研究をないがしろにしているというイメージを与えてはいけないということで、数のファクターもある程度考慮に入れて、バランスを取らざるを得なかった。

項目の数が少ないということはあまり心配することではない。研究であれば、かなりのものが見えている。評価は絶対評価のほずであるが、評価に当たる委員が独りでに相対評価をしてしまう。表現が「構築する」とか「推進する」という抽象的な表現になっていると、そういうことに陥りやすい。従って、計画を実施した結果、こうなったと言えるようになっていれば、非常にクリアである。

認証評価では議論になったが、中期目標達成の評価では、グローバルCOEに採択されたか否かはあまり議論にならない。規模の大きい大学であれば数を取れる。

先端研究ばかりで良いのかという学内の意見があった。基盤研究をある程度自由な発想に基づいて推進する必要があるという意見もあり、これについては、最終的にどのような評価を得られるかということが難しいと思っているが、大学として基盤研究も行うということを計画に掲げる必要があるのではないかという議論があった。

それは非常に意味があることだと思う。日本でいちばん反省しないといけないことは、今、競争ということばかり言っているが、技術開発でも大事な基礎をきっちり営んでいないと、20年、30年先にその時々の中が必要とする新しい技術ができるはずがない。具体的には、科研費をどれくらい獲得するかということ、そのためにどのような努力をしているかということではなければ、基盤研究は成果を示せない。そういうところに知恵を絞らなければいけない。

そういう議論があって、基盤研究の成果を踏まえて「学際・複合・新領域」研究拠点を創出して、何かいい研究拠点ができれば一つの成果として評価していただけるのではないかと思っている。

拠点を作って動かなければいけない。動いていることが見えれば非常に評価されると思う。

評価結果で医学部は「2」という評価で、基本的には非常にレベルが高いと思っていたのに、ちょっとがっかりしている。何が違うのか。もっと上の評価をもらった大学はどういう大学なのか。我々はこういう評価を見ても意味が分からないし、インパクトを受けない。おっしゃるとおりで、全国の大学のデータがいずれ公表されるので、そういうものと比較しながら分析をする必要があると思っているし、ピアレビューということで、仲間内のレビューであることも影響している。

社会的な評価だけが目標ではないが、人間は望みを持って、どうありたいかという目標があって向上するものであるため、それが一番大事ではないかと思う。

本来は、我々が目標計画を作ってそれをどれくらい達成したかという達成度の絶対評価のほずだ。評価の数値が一人歩きして序列化に繋がるのが非常に危険であると思っている。

これを請け負っている大学評価・学位授与機構は、その点は非常にシリアスで、そういうことにならないように考えている。評価そのものについても、評価だけで大学がどれほど疲れてしまうかということが言われており、考え直す必要があるのではないか。

今回の評価結果への対応についてはこれから考えていかなければいけないが、あまりこれだけにとらわれ過ぎてもいけない。熊本大学として目指すものと必要なものは持つべきであると考えている。

大学の規模によって、できることとできないことがある。熊本大学の場合は、領域は限られても、世界のトップクラスもあるので、大学としてそういうものを明確にしておけば良いと思う。

なお、議長から、今後は次期学長候補者も交えて検討を重ね、素案（第2稿）がまとまった時点で改めて本会議において意見を伺うこととしたい旨付言があった。

### 3. 平成20年度人事院勧告に伴う熊本大学役職員の給与等の取扱いについて

議長から、平成20年度人事院勧告は、給与水準の改定はなく、1日の勤務時間を短縮する内容である旨説明があり、12月3日の役員会において、本学の役職員の給与等の取扱いについて、人事院勧告を重要な参考材料として対処することが了承された旨報告があった。

次いで事務局から、資料3に基づき、人事院勧告の内容等について説明があり、議長から、本学役職員の給与等については、役員会において了承された「平成20年度人事院勧告に伴う熊本大学役職員の給与等の取扱いについて」の考え方を基に検討することとしたい旨提案があり、審議の結果、了承された。

## 報告連絡

### 1. 平成21年度概算要求（内示事項）について

議長から、資料4に基づき、平成20年度補正予算及び平成21年度概算要求に係る内示事項について報告があった。

また、議長から、文部科学大臣へ承認申請していた平成19事業年度剰余金の繰越について、12月16日付けで承認された旨報告があり、同剰余金については、中期計画に定める「教育研究の質の向上及び組織運営の改善」に充てるための目的積立金「教育研究環境等整備積立金」として処理する旨報告があった。

### 2. 法人評価結果について

議長から、国立大学法人の教育研究評価について、大学評価・学位授与機構から中期目標の達成状況に関する評価結果（案）が届いた旨報告があり、次いで菅原理事から、資料5-1・5-2に基づき、評価結果の内容について説明があった。

なお、議長から、今後は、評価結果（案）について意見申立（事実誤認・字句訂正等に関するもの）がある場合は1月末までに提出することとなっており、2月末に評価結果報告書が同機構から文部科学省の国立大学法人評価委員会へ提出され、3月に各大学へ通知される予定である旨付言があった。

### 3. その他

#### (1) 高橋監事の国立大学法人等監事協議会会長就任について

議長から、12月9日に開催された国立大学法人等監事協議会において、本学の高橋誠一監事が同協議会会長に指名された旨報告があった。

#### (2) 平成21年度経営協議会の開催日程について

議長から、経営協議会は例年、年4回の開催としているが、平成21年度については、4月に第二期中期目標・中期計画について審議する必要があるため、開催回数を1回増やし、年5回の開催を予定している旨説明があった。

なお、議長から、平成21年度第1回会議は4月16日を予定しており、第2回以降の開催日程については、次回の本会議に諮る予定である旨付言があった。

以上

次回開催：平成21年 3月19日（木）13時30分から

< 配布資料 >

- 資料 1 平成21年度熊本大学予算編成の基本方針（案）
- 資料 2 - 1 第二期中期目標・中期計画素案の作成について
- 資料 2 - 2 総合企画会議を中心とした第二期中期目標・中期計画素案の作成スケジュール
- 資料 2 - 3 第二期中期目標・中期計画素案の作成について  
（4）素案（第1稿）の構成と特徴
- 資料 2 - 4 第二期中期目標・中期計画素案の作成について  
（3）大学の機能別分化：第二期中期目標・中期計画素案、熊大プラン等との整合
- 資料 2 - 5 第二期中期目標・中期計画素案（第1稿）（教育関係）ほか
- 資料 3 平成20年度人事院勧告に伴う熊本大学役職員の給与等の取扱いについてほか
- 資料 4 平成21年度概算要求（内示事項）について
- 資料 5 - 1 中期目標の達成状況に関する評価結果（案）
- 資料 5 - 2 達成状況報告：評価結果（案）ほか
- 資料 6 国立大学法人熊本大学経営協議会の開催日程（案）